



# 障害のある人へ 福祉タクシー利用券を交付します



申問 障害支援室 ☎(24) 8968

**手帳**①～③のいずれかを持っている人が対象です。ただし、本人および配偶者の市民税所得割が46万円（障害児は世帯の所得割合計が46万円）を超えると対象外です。

## 対象

- ①身体障害者手帳1～3級  
(3級は視覚、下肢、体幹機能障害の人のみ)
- ②療育手帳(A)、(A)の1、(A)の2、Aの1、Aの2
- ③精神障害者保健福祉手帳1級

## 申請開始日

**3月31日** (火)

申請受付初日から1週間程度は大変混雑します  
混雑時期を避けてお越しください

## 申請場所

障害支援室(10番窓口)で受け付けます

## 交付枚数

400円の利用券を1か月4枚、最大48枚まで  
人工透析治療を受けているじん臓機能障害の人は  
1か月16枚、最大192枚まで  
※4月30日(木)までに認定された場合は最大の枚数を交付します

## 助成額

1回の利用につき1,600円まで

## 有効期限

4月1日～令和9年3月31日

## 必要なもの

- ①～③の手帳
- 未使用の令和7年度の福祉タクシー利用券

## 利用できる タクシー会社

大丸タクシー、平和タクシー、ミナト・ミタカタクシー、アステル交通、アステルサポート、  
ミナト交通、ウエスト、きずな、弘誠会看護婦家政婦紹介所、コアラ銚子、福祉タクシーちゃお、メロディー、シグナス銀河

## 市長コラム 120

### 【洋上風力、 事業者再公募へ】

銚子市長 越川 信一

銚子市沖洋上風力の法定協議会が2月5日、千葉市で開かれ、「新たな公募制度」と「協議会意見のとりまとめ」を承認した。

銚子市沖の洋上風力めぐっては昨年8月、三菱商事グループが撤退を発表。銚子市は、投資環境の整備と発電事業者の再公募を迅速・確実に進めることを経済産業大臣に要望した。その後、国は洋上風力事業を完遂させるための事業環境整備の検討を進め、公募制度の見直しを実施。迅速性や売電価格よりも「事業実現性」を評価する方針に改め、過度に安い入札が行われない措置を取る方針だ。経済産業省の古川雄一・風力政策室長は「国として、

事業が完遂できる環境づくりに努めたい」と見解。

法定協議会では、「選定事業者は地元自治体とも連携しつつ、地方創生に資する発電事業の実施に努める」とする協議会意見を採択。私からは「銚子市沖の洋上風力事業は、漁業共生・産業振興・観光振興・ゼロカーボンに貢献する重要なプロジェクトであり、大きな波及効果を期待している」と地元の思いを伝え、新たな事業者の募集にあたって、「水揚量日本一の銚子の漁業との共存共栄、洋上風力を通じた漁業振興」「地元産業界やメンテナンズ会社CICOWSと連携した地域経済活性化」「銚子市が出資する『銚子電力』への洋上風力電力の供給」「周辺環境への配慮、屏風ヶ浦の景観との調和」の4点を要望させていただいた。

国は、三菱商事グループに代わる新たな事業者を年内に再公募する考えで、海を拓く洋上風力プロジェクトの確実な実現を求めています。